

# 幼 兒 教 育

第 十 九 卷 第 八 號

大 正 八 年 八 月 一 日 發 行

## 目 次

生きた教育を……………羽仁もと子

「ギンデルガルテン」と云ふ名について……………井上愛策

幼児の天性と自然科的保育……………岡本あい

フレーベルの日に(三)……………江戸堀研究会

思ふまゝ……………一 會 員

雜 報……………

兒童心理學研究指針……………谷 本 富

日 本 幼 稚 園 協 會

## 會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前前は初め御入會の時の御名前と御同一になし下され度く、假令ば初め幼稚園名にて御入會、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様必ず願上候整理上甚だ煩雜致し候につき右特に御注意願候

○會費未納は會計整理上甚だ困難致候に付確實に御納付下され度向後萬一御不納久しきに亘り候場合は乍遺憾雜誌發送を停止可致候間左様御含み置願候

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願上候

○萬一本誌不著等のこと有之候折は直に御一報煩し度候

### 本誌定價

一冊 郵稅共金拾六錢 六冊前金郵稅共九拾錢  
拾二冊同金壹圓八拾錢 郵券代用 一割増

### 購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正八年七月廿七日印刷納本

大正八年八月一日發行

編輯兼發行者 倉 橋 惣 三  
東京府豐多摩郡代々幡村大字代々木山谷一二四

印刷者 守 岡 功  
東京市本所區番場町四番地

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場  
東京市本所區番場町四番地

發行所 日本幼稚園協會  
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

# 幼児教育

第十九卷  
第八號

大正八年八月一日發行

## 「生きてきた教育を」

婦人の友主幹 羽仁もと子談

私の考では子供の時分からなるべく種々の場合に直接遭はせる機会をつくつて、多方面に經驗させる様に心掛ける事が誠に大切な事であると思ひます。世の中は決して單純なものではございません、たゞおこる周囲の變化動搖の中にあつて、まごつかず、あはてず身を處して行くには決して温室の花の様な育ち方では間に合ひません。多様な生活の形式の僅かに一方面にだけしかあてはまらない様では困ります。それには子供の時分からなるべく單調一律の生活をさせず出來得る限りさ

まづの場合に、また多くの人に接する様にして子供がもつてゐる能力を一方に偏せしめない様にしたと思ひます。嘗つて私の所に居つた女中の一人に、私はいつもこれを感じるのでもございます。その女中の一人兒として育てられ、大層に何かよく出來、機用にものをするのですが、いかにも變化の少ない家庭に育ちましたために、境遇の變化に處する事が出來ず、言ひつけた事は寸分の間違ひもなく致しますが、扱一寸變つた事になると、さつぱり融通がつかず、自らその變化に對して適當の判斷をして之を處する事が出來ませんで

した。

これに就ても私は子供を幼稚園に出す事を子供、のために誠に幸であると思ひます、どんなに複雑で多人數で兄弟が多くて召使が多い家庭でも、一つの家庭では其變化は知れたものでございます。

幼稚園ではいろいろの家庭から、いろいろの子供が來て居りますし、子供相當に其多様な變化の中にあつて、しらすく自分の能力を多方面に引出されます。一寸した例で私のよく聞く事で申しまして、家に居る中はなか／＼元氣で活發で、人におちたり、はにかんだりする事はないと母親も信じて、あの兒ならば大丈夫と思つてさて幼稚園に出して見ると、案外に氣がよわくて、入園後永い間附添の手をはなさず、一人で遊ばれずによく泣くと云ふ様なこともあります。これも幼稚園に出して見る、即ち變化多い境遇におくと云ふ事が必要れば自分の子供のそうした性質もわからずにするでしまひます。これが小學校になりますと、

子供もさすがに氣まりがわるくて、泣いたり附添の手にかぢりついて居たりはしますまいが、あらはさないだけで氣のよわい兒はやはりそうした氣持をもつてゐるのでございます。

それ故、出来る丈早くから、子供はなるべく變化の多い中に出したいものでございます。そしてありのまゝのその兒の性情を各方面から了解したいとおもひます。子供の心はわかつた様でなか／＼わからないものでございます。いろいろの事におつかる事がなければ、そのわからない心はますます／＼わからなくなりますから、なるだけ多方面の事にあはせて一つ一つその經驗からその性情を知つて、知つた斗りでなしに、之に適當の教育的の所置をとつて行きたいと思ふのでございます。

それから、また子供の心は誠にやわらかいものでございます。可塑性とでも申しますか、どんな形にでもはまりやすいものでございます。従つて

傷られる事も容易いかはりに、またその傷いた心失望した心をとりなほさせて、希望に充たさせる事もまたやすいのでございます。

私は子供をいろ／＼の経験にあはせるのがよいとは申しましたが、會せ放なしでちつとも之をかまつてやらない様ではそれこそ大變でございませぬ。経験させたらば、一々深い洞察力を以てその経験して居る事、又その結果を見つめて、之に對して充分の同情をもつてあたらなければなりません。成功の経験にも失敗の経験にも。ことに私共母親として氣をつけねばならない事は、子供が失敗の経験をもつた時でございませぬ。失望したくるとしさは實に可愛想でございませぬ。しかし、子供は何か得意な時には争つて母親に告げるものですが失意の時には兎角だまつて居る事が多い、この時に母親はうつかりして居ると、其の失望をさせたまゝで願はず、子供はます／＼おちけてしまつて母親にます／＼打あけにく／＼なると云ふ事になりま

す。例へば最近私の経験致しました事で申しますならば小學校に通ふ子供ですが或時特に大切な繪のお清書をしなければならなかつた時、生憎私が忙しい事のためいつも程、力になつて勵ます事もなく願ひみる暇もなく、時を過しました。その上に丁度その繪をかく日曜日は宅の運動場で運動會がありますので皆大さわぎをしてをりました、其後そのお清書がどうなつたとも私はつひ取まぎれてゐて聞きませんでした。所がその後この子が例になく算術の時も書取の時も不出來でした。私は氣がついて、いろ／＼考へて見ると、初め大切な畫のお清書をした時に、そのお清書が少し出來がわるくて折角初め選抜でかゝせられたにも拘らず、結果は選にもれました。この事で大層失望したこの兒は、この事を母親にも告げず、慰られる事なしに、そのまゝで、一方に自信力も失つて、そのために次々と成績がわるいのでございませぬ。これに氣のついた時、私は、人はいろ／＼の経験を

する事が貴い事、また得意の事はがりつづくものでない事など話しますと、子供も大に元氣づいてまた一生けん命する様になりました。

これは幼稚園の子供にも同じであらうと思ひます。注意深い母親ならば、我子がどんな経験をしないでどんな心持ちにあるかはよくわかる事であらうと思ひます。なるべく多く経験をさせる、しかし一つ一つの経験をよい方に導いてやらなければなりません。よく世間で相當に謂ゆる熱心である家庭にそだつた兒に、思ひがけなく不良少年が出る事をきゝますが、私の思ひますにはこれは或は私の子が失意の時に、深い同情をもち、力になつてやるだけの深い心がたらないためではなからうかと思ひます。一つの事に失敗して、その失望のいたましさ<sup>に</sup>在る人が癒され勵まされる事なくして、だん／＼自信がなくなり、失望の経験をかさねれば、つひにはそのたよらない心を打あける所をうしなつたまゝで兩親の心からはなれて行くのであ

りますまいか。

これと關聯して思ひます事は、叱ると云ふ事でございませう、子供はどう云ふものですか大變に叱られると云ふ事を恐れます。失意の時、失敗の経験をした子供が、母親にだまつてただ一人で困つてゐると云ふのもやはり意識してか或は殆んど無意識でも「叱られる」といふ心配をするからでございませう。實際これは困つた事で、得意の時には云はなくても失意の時には母親の所へかけこんで慰められたいと云ふ心をおこす様になつてほしいと思ひます。ところが實際子供は何か失敗すると母親からさげ様とする傾向がどうも一般にある様です、それですから、親の方から子供を深く見る様にして、あのやはらかいやさしい心、一寸の事にも傷きやすい心を察してやる様にしなければなりません。何だか今日は活潑でないと云ふ事、また云ふに云はれない子供の心の動搖は、それこそ云はずかたらずに注意ぶかい母親なり幼稚園の先

生なりにはわかると思ひます、この時に早くこちらからその苦しさを思ひやつて、靜かにやさしくいたはり慰め、また導いてやる様にすれば、子供は次第に失敗の經驗にも恐れなく母の所へかけこんで慰められる心持ちになると思ひます、これは餘程幼さい頃から氣をつけませんと幼さければおさない丈感ずる事が深いものですからそれをそのまま、氣がつかずに打すて、おけばやがて失意の時には一人くるしむと云ふ淋しい心になつてしまひませう。子供は自分の父母に對してさへ叱られると云ふ事を不思議な程恐れるものでございます。まして、兩親よりも一層嚴格な感じを不識の間に持つて居る幼稚園の先生に對して、一層この恐れはつよかろうと思ひます。よく子供が「先生に叱られたからもう幼稚園に行かれない」と申しますびつくりして幼稚園の先生に聞いて見ると一向叱つた覺えはない、ただ大聲に誰さんと呼んだ事があつたと云ふ様なことで笑つてすむ事もあります

が、實際、先生は叱つたつもりもなく、一寸聲を大きく出して子供は之を叱つたとゝる事がありません。それ故これは餘程幼稚園の先生が氣をつけて、假りにも叱かると云ふ態度はとらない方がよいと思ひます、子供が怖れる心から親なり先生なりの心をはなれて行く程可愛想なまた恐しい事はありません、失意の時に慰められる相手をもたない心は、やがては、すさんだ暴れた冷たい心となつてしまふものであらうと存じます。

(談話……文責記者)

「おい人よ!! 人らしくあれ、これがあなたの最上の義務である。  
幼きも老ひたるも高きも賤しきも、人らしくあれよ! 人間に關係するあらゆるものに對して、人らしくあれよ!」(エミール)

# 「キルデルガルテン」と云ふ名について

米國エモリー大學 井 上 愛 策

左の一篇は米國にある本會々員井上氏が倉橋主幹に送られし書信ですが特に乞ふてこゝに御紹介申上ます。同氏は彼の地にありて、常に本會に深き同情をもち種々の有益なる通信を下さる事を併せてこゝに御禮申上ます。(編輯係)

謹啓愈御精勵奉賀候先月(四月號)米國の月刊雜

誌 モロコシヤニシテ 教 育 に シンシナチ大學のプリヌ教授の トビ school instead of Kindergarten なる題を閲讀候

間御參考迄に申上候同教授はフリーベルが最初呼

びし “Klein Kinder beschaffigungs Anstalt” なる

語を引證せしがなる程英譯せば Klein = little 小

に Kinder = children = 兒童 beschaffigungs = Occu-

pation = 業 Anstalt = School or institution = 學校 恁

んな處から キンダーガートン 「幼稚園」の代りに「プレイ、スクール」

の説が出しやうに考へられ候、申すまでもなく

“Play School” のプレイは此の處にて廣い意義に

て、英米人が會話の間に例せば今兒童が恩物でお家を組建て(プレイイング)のみますと軽く云ふ時にも其意は兒童の仕事を示し、プレイイング、オクキユバイング、仕事に従事して居る事なれば勿論プレイは業一般を示すものにして、遊戯とかゲームをのみ申すものに非すと存じ申候、然かし小生にとりては、日本語の幼稚園は耳なれし理けか何んとなく美しく響き如何なる原意が理由にて他の名稱を附せらるゝにせよ幼稚園なる語は既に兒供の國を想像せしめ、園は兒供のパラダイスと觀じ申候、勿論未だ深く斯の名稱問題に就て考へ不申候間確實に徹底たる名稱は何れが是か非かをも兼ね候へ共、此の詩的な幼稚園なる名稱を今更ら變ずるの急務にも非すと存候、然かし極めて實際



的な米國の一教育家が原意の實際を表現せる名を在來の幼稚園キンダーガルテンなる代りに倣めんと試み亦徒勞の研究にも非ずと存じ左に其頁を御紹介申せば、

『戰爭の結果萬事獨逸に對し偏見の理由を以て幼稚園キンダーガルテンてふ名に異論を挿むに非ず、廣義に云はしむれば米國に於て整然たる學校組織の究備せる中に、獨逸の教育理想又は全く外國の原理を基礎とせる名稱を與ふる事に付ては予は多年反對の意見を有せりジユムジユムナシユームナシユームは獨逸思想を最も好く表はし彼國が軍國主義を維持し以て之を基礎とし、尊重せる名稱なり、命令に服從の原理は獨逸に於ける統一の原則にしてブレイを通じて其れ自身の活動表情に非るも斯は初期の道程に於ては特に理ならん。

フリーベル自身が考へし如き兒童の爲の學校に適當なる名稱を發見せん爲には、彼自分随分困難を感じ、されば彼が最も幸福なるインスピレーションと認めし名稱にして世にも歡迎

せらるゝ幼稚園キンダーガルテンなる名を當時幼兒の學校の典型として直接に採用せざりき、蓋し最初に呼びし

“Klein Kinder beschaffungs Anstalt”なる語は兒童が孜孜として勵む大部分がオキユベーションプレイを爲す事に確立するものとして最も適切に其特質を表はせるものと云ふ可矣。

斯之機關のフリーベルによりて建設され其の先輩たる理想と遂行せしと雖も餘程改良取捨あり、オキユベーションは嫁姆、教師によりて主治せしものに非して、嫁姆各自が動作を單に口授するに止まり、以て兒童の前に備へられたる教材外に尙創作に於ける自發的活動を自由ならしめんが爲なり、故に新教育の運動たるや其意志の發展は自個活動を通じて初歩の發達、自由、獨立、等を助長せしめんが爲にして、かゝる運動は社會的、政治的、結果に於けるデモクラチックたる所以なり、則ち何故フリーベルが蒔き

し種を外國の土に特に米國に僅少なる成果として移植せしかを説明するものなり。今日一部分のフリーベルを想像し、若しくはフリーベルを獨逸と共に同情せんとすることは不可能なり誰かよく如何なる程度にせよ義務なりしにせよ白耳義に進軍して多數の幼兒を死に致したる獨逸と共にフリーベルの「來れ我等をして兒童等と共に生活せしめよ」と云ひし溫和なる言葉を描出し得るものぞ、然らば何故世界を權力で支配せんと企てし狂暴なる獨逸の軍國主義の名を吾人は繼承せんとするか、宜しくキンダーガートンよりもフリーベルの學校と稱するを可と爲す則ち彼の名は常に其理想と共に聯想さるゝものなれど、斯の名は今日の幼稚園キンダーガートンに對しては異論の生ずるや必せり、須く夫の時代を超越し進歩と特質を加味するものなる可し、なる程彼は多く改良しブレイの動氣に依る可き事と見出せしと雖もブレイの精神其のものは生來自然に在

りブレイの方法如何によりて兒童は生育するものなり。生長發達は凡ての學校生命の目的なれば、ブレイの精神と通じて、兒童たる事の更らに振興助長さるゝものとせば何故に幼稚園の代はりにはブレイスクールと稱へざるか、他の名は數々暗示されたるもブレイスクールは幼稚園に於ける最も一般統一的動氣の觀念に適合し、現代に於て他の見地よりして亦異論欺惑なく權威あり、更に好く了解されブレイの眞價を表はすものと信んずるものなり』……以上

五月二十五日

Emory University Ga.  
井 上 愛 策

「……私は雲とならう。母さんはお月様になつて下さい。私は  
両手で母さんを蔽ふ。そして私共の家の家棧は青空になりますね

えー

(タホル)

# 幼児の天性と自然科的保育

京都日影幼稚園 岡 本 あ い

■都會の子供は其の環境の影響から身體が虚弱なばかりでなく精神方面殊に意志が弱いと言ふことは誰しも認むることでありますが、尙彼等の大不幸は家屋の立詰つた、音響色彩形態等種々雑多な變化と刺戟とに閉ぢ込められてゐて、大自然に親しむことが出来ないと言ふことです。

■自然物乃至自然が知的活動の對象として必要なことは申すまでもなく、心性の陶冶といふ上から見ても是非に其の教育要素として考へねばならぬことです。古來の科學者文豪哲人の歴史を見ればこの自然といふものが如何に心身發達上教育價値の大なるかが分ります。

■私はこの立場から園内に植物農園をほしいと思ひますが、大都市の中央では何とも致し方ありま

せん。然るに一方私は最近に幼児が砂場其他で遊んでゐる状態を觀てゐました處が、別に教へもしないのにお百姓のまねごとや、草木の枝切れなどを拾つて來ては其を植えたりすることなどによつて言ひしれぬ感喜に打れてゐるのを認めました。

■これを動機として一方には作業教育の價値に思ひ至りまして、幼児の發達程度に適した、そして都市の兒童の缺陷を救ふためには、どうしても野外につれ出さねばならぬことから、豫て毎月數回繼續して來た郊外保育に多少の趣向をこらして見たいとの考へから。

■幸ひ平野に我が區内長野氏の畑有るを借りて昨年十月廿六日豌豆を播種しました。其の後一箇月を経て其の發芽状態を觀察させた時程幼兒等の頭

に印象を深めたことはありませんでした。各自が其の發芽を見て何共形容の出來ぬ喜びを表現し中には大きな聲をあげて喜んだものもありました。

其後數回の手入をして三月十四日花盛りに其の成長の有様を見せましたが、幼児の喜びは又一段で、自然科的取扱の有効な成績を見ることが出来ました。次で五月二十八日には畑に行きて豆ちぎりをなし、翌二十九日は其のかはむきをさせましたが、其の作業中には彼等は色々なことを學びました。中には想像を廻し舟が出來たなど言つては、ポートの歌を唱つたり、馬に作らうといつて脚を附けなどして創造生活を爲す様は何ともいへないでした。

■その日のお晝に豆の御飯に仕上げて園児一同に舌鼓をうたせ、幼稚園出身の第一年生や小學校の先生方をお客に招いて、家庭社會の實際生活を其のまゝに相共に楽しい集りをしましたが、一つの仕事から凡ての方面の教育が系統的に有機的に

行はれて効果の大なることを認めました。

○えんにち

……虫賣の店の隣に眼鏡懸けたくねん顔の老人が三體千字文の講釋に入を集めてゐる。其隣では「ケムアルパイブ」とハイカラな看板かけて一袋二錢の駄菓子で子供達に大もて。「火をつけてはいけない煙草、かうして口で吸ふと煙が出る。」吸つて見せると生意氣ざかりの腕白童がしきりに買つて行く。

「生さらし餡」の幟のひらめく燈の下には「二錢」「三錢」のお客がたえまなく詰めかける。ふと母さんに手をひかれた四つ位の子の男の子が立止まる。餡屋の婆さん得意氣に餡を切りながら「坊ちゃん、明日からまた上りますよ。今日は二錢に四つだが明日から一錢に三つ」この子母さんの袖をひいて「お母さん、あがるつて何の事？」母さんは黙つてゐたがやがて「さあ、坊や、向ふの方へ行つて見ませう」と。

「母ちゃん、チン〜（自轉車の玩具）買つてよう!!」瀬戸物屋の前で茶碗の鑑定に餘念のないおかみさんに五つ位の子が聲を溜してゐる。「ねえ母ちゃん!!」かう云ひつゞけて、向ひの玩具店を見入りながら「チン〜」と口真似してゐる。買物がすむとそのおかみさんは「あんな物、繁ちゃんには駄目よ、すぐに壊してしまふぢやないか、お前には食べるものの方がいいよ」とひきづる様にこの子をつれて人込みの中に消えた。

風鈴屋、金魚屋、植木屋その店にたつ浴衣姿のお客、本當に夏らしい、本當に涼しそうである。(七月十四日)

# フレーベルの日に (三)

大阪市江戸堀幼稚園

成田クニ

## ○先づ歌ふ前に

今日私共の尊崇して居りますフレーベル先生の御祭典を行なはれまして、私の様な未熟な者が此所で御話をさせて頂きます事は誠に御恥しい次第でございますが、誠に光榮の至りに存じます。今茲に暫くの時間を頂戴致しまして幼児の音楽教育の事に就てほんの僅か私の感じました事を話させて頂きたいと存じます。

フレーベル先生の御言葉に「子供は歌を教えられる前に先づ感情即ち内部的生命を發達させなくてはならん」と云ふ御意見がございます。良い花を咲かせますには先づ前によく畑を耕やさねば成りません。又良い實を結ばせる爲にはよく根を培

かはねば成りませんのと同様に愉快に面白く効果有る様に幼児に歌はせ様と致しますには先づ先に其歌に對する幼児の興味をよび起し心地よき氣分にさせて後、歌はせねばならんかと思ひます。例へて申しますと摘草の歌を教えます時に、春の野邊の御話をしたり、冬、雪降る日に其の日の感じを話して後に雪の歌をうたはせたり致します事は、日頃皆様も御實行遊ばして居られます事でございませうが、只今申し述べ様と思ひます方法も亦行うてよろしいかと考へられます。

其れは御話の中に唱歌を交へて歌はせましたら幼児に興味を興へるであらうと思ふのでございませう、例へて申し上げますと太郎サン花子サンの二人が野邊に遊びに行きました、其時汽車が通りま

したと云ふ御話を致しまして、「汽車が通る煙を出して」と歌ひ花子サン太郎サンの歸途も亦汽車で有りましたと云つて汽車の唱歌を歌ひます様に御話の中に御話に關聯した唱歌を歌ふて聞かせたり又歌はせたりする様に心懸けたいと思ふのでございます。

斯様にしやうと思ひますには、媼姆はよく唱歌を練習致しまして獨唱を以て幼兒に音樂の趣味を感ぜしむる丈の技量が是非必要と成つて參ります。此様にして居りますと幼兒は興味の中に覺えて自然に巧に歌ふ様になつて參りますと思ひます。

フレイベル先生は會話中に「今晚は」と云ふ言葉を歌にして教えられた事がございます、入園當初急に環境の變りまして感情の正調を失ひ不安の状態にございます新入幼兒等に對しまして、談話の中に交へて媼姆が獨唱し、又は樂器を聞かせて自然に幼兒をして歌はしめる様に導く事は、又良い方法かとも思ふのでございます。

皆様も御存じで御座いませう、小學唱歌集を作られましたメーソン先生は東京高等師範學校附屬幼稚園で幼兒に小學唱歌集中にございます「かをれ」の唱歌を教えられました時に、幼兒はあのむつかしき歌に拘らず喜び迎へたと云ふ事でございます。是れは全く先生の御指導の良ろしかつた爲に幼兒は興味を持つた事と思ふのでございます。

先生は唱歌を教えられます時に、何時も「歌をあげませう」と云はれたらうでございます。歌を教えますにはピアノや其他の機械に依らず、ほんとに自分の物として歌ふ事の出來た後に、幼兒に別ち與へるので有ると先生は常に話されたらうでございます。斯う云う御話を聞きますと、私は今更ながら音樂に對する修養の足りません事を痛切に感ずるのでございます。私共は幼兒に歌はしむる前に自分先づ歌ひ得られる様に、音樂の修養に修養を重ね練習に練習を積みまして、唱歌をしてもづともつと保育上有效に利用したいと思ふのでご

ございます。ほんとにつまらない御話を致しまして長い時間お耳を汚しました事を恐縮に存じます。

## ○心の門

洞愛幼稚園 北村文子

今日フレーベル先生の御祭りに此演壇に立つてお話いたしますことは實に光榮と存じます。

私が、幼稚園に入りましてから二年五箇月になります。日數では九百日になります、此の間に毎日三十人の子供を受け持ちまして考えて見ますと丁度二千七百人の子供を扱ひましたことになりませんが、どうしても子供の心に入ることが出来ませんでした。私は朝も晝も晩も此事のみを考えて居りました折柄、昨今やうやく子供の心に入ることの出来る様な微な光が見えて來た様な感じがいたします。それは或る朝、私が大小二つの荷物を持って幼稚園に出勤いたしました。これを見つけた一

人の子供が飛んで來て、「先生お早う御座います」と云ひ終るが早いか「先生お荷物を持つて参りませう」と云ひました。私は快く同意いたしましたので、子供は一つの荷物を取つて呉れました、私は心から感謝して子供のなすかまゝにいたしました。子供は一つの荷物を持つてうれしさうに私について参りました。此事は子供が先生に奉仕をして居るのでございます。フレーベル先生が子供を知れと申されました事も丁度こんな事と存じます。かう云ふ事から私の心と子供の心とが親密になつて來た様に思はれます、子供の心と保姆の心とが常に歩調を合はして行かなければ保姆の理想が實現されぬものをつくづく思ひました。此奉仕に對して保姆は同意し感謝すると云ふ事即ち子供の心と嫁母の心とが互に一致する時に初めて子供の心に入ることが出来るのだらうと存じます。更に一方に於いては愛らしい子供と生活する嫁母は自己を教育する人でなければならぬと思ひます。若自

己の教育を怠る様な事がありましては、それこそ遠大な望多い子供を火中に投ずる様な危険に陥らしむるかもわかりません。それで其方法としては本を讀むと云ふ事も必要でありませうが、又、フレール先生の様な人格の高い古人を偲ぶと云ふも又、必要であらうと存じます。私共一方に於いて自己を教育し一方に於いて可愛らしい貴き子供と、世の中を楽しく送つて行きたいと存じます。

### ○過去をかへりみて

中大江幼稚園 辻 久榮

今日のフレール先生の御まつりに當りまして此先生が殊の外子供を愛された事に照して心恥しく感じます餘りに、「過去をかへりみて」といふ事に就て少し御話をさせて頂きたいと存じます。私が此幼稚園界に入りましてから、もはや十年となりました。當時はまだ學生氣分の去らないた

めですか何とも非常に窮屈に感じまして、保育室にても子供の顔なんかはよく見えませず、これだけの事をせねばならぬかと思へば思ふほど身體がかたくなるのみで、殆、毎日何をしてゐるのか自分ながらわからずにごしました。次の年位から子供がいかに可愛くなりました、しばしの休みなどにははやく顔をみたいといふやうな堪へられない執着を子供に對してもつてまゐりました。後、諸先生方の教を受け又覺束ながらも之に關する書物を繕きましたから、保育はいかにもむつかしいものであるとの心が強くなりました、どうしても眞の趣味が出ないのに苦しみました結果、せめて今一奮發して及ばずながらも子供の母になつてみたいと心にちかひをたてましたが、それすら不知不識の間に自からやぶつて居りました處が、過る三月末に三年間共に遊んで來ました五十餘名の子供にわかれましたが、其時ほど残り惜しくたゞ可愛くたゞ淋しい感じのした事は御座いませぬ



## 〇二つの道

東區船場幼稚園 直井ヒサ

でした。これがいつしか結ばれたほんとうの愛情で御座いませうか、全く失敗勝の私にめぐまれた唯一つの賜ではないかと非常にうれしく思ふので御座います修養と云ふ内には反省といふ事が最も大切な事だと思ひます、かの論語に三度わが身をかへりみる云々と御座いますが、とにかく進歩といふ將來は反省といふ過去を基とせなければ出来ない事だと考えられますので、私の過去十年を一口にいへば至極短くても實際は随分長う御座いました。しかしいくら長いからとて今更唯過去のみ偲びましても一向偲がかひのないものですからむしろこの大正八年度に臨みまして、新しい罪のない然も可愛い天使を迎へましたのを幸ひ、すべてを新にして進み、かつての失敗をくりかへさぬやう十二分の眞心を以て斯道の爲に盡し過去の御わびを申し上げたいと思ひます。誠に拙い言葉ながら所感の一端を述べさせていただきまして有り難う御禮を申し上げます。

私共は自分で考へてゐることを人様の前で話させて頂くといいふことは一つの自己教育であらうと存じます。殊に古人を御慕ひ申し古人の行績を考へたり、又仰せられました御言葉などを語り合ふことは實に一つの嚴かなお祭りの眞意義であらうとも考へられましたので、私もおがましようございまして一寸出まして自分の感じましたことにつきまして一言話させて頂き度と存じます。それは二の道といふ題で一つは興味といふ事と、一つは同情といふことでございます。

或る暖い心持ちの良い日に二三人の女の子が、「先生私たちにお人形と莫塵もぢんとを貸して下さい」と頼んで參りました。それで私は直に之れを貸し與へまして其子供等がそれを何處へ持つて行つて何をするかを見て居りました。すると、之れを一番

日あたりのよいお庭の方へ廣げまして、石の所へお人形を列べまして、之れに木の葉や梅の花瓣や松葉などを拾ひ集めて御馳走をして如何にも楽しさうに遊んで居ります。私にも「御客様に来て下さい」といふて誘ひに来て呉れました。それは雛祭りの御遊びで御座いました、それで私は其の日の保育案を止めまして其子供たちの遊びから材料を探りました。積木で此雛まつりを自由にさせました、私は其時何とも言へない感に打たれました、それは子供の興味といふことゝ自由な遊びといふことゝでございました。フレーベル先生の仰せられました「自由意志に依る活動は人の神性なり」といふことも此處かと思ひました。

幼稚園の始まる二十分前は一日中で最も大切な時であらうと存じます。其時には子供が楽しんで登園して参りますのを、嫁婦に門前で快く迎へてやりまして、子供自身が出席したことを先生が大へんに喜んで迎へて下さつたといふ暖い氣分にな

つて、其日の遊びを楽しく過すことが出来ませうそして親密に子供に接觸しまして幼児が自由意志を以て活動を致しますうちに、色々の發表をします其時も亦充分の同情を持つて觀てやりまして、其の内に幼児と嫁婦との接觸點を見出し且つ保育の材料を其子供が最も興味を持つてゐる所から取ることが大切かと存じます。故に子供の興味ある生活から保育の方法を案出しない時にはそれは全く死んだ保育案だと思ひます。

又同情を以て見てやるといふことは子供は大人から見ても誠に取るに足らん様なつまらないことに見えてゐましても、子供の心に取つては、大きく考えることがございますから嫁婦は之れをよく了解してやりまして、充分に親切に慰めてやり、又誤謬や過失を親切に處理してやり、或は訂正してやり、子供が善いことを致しましたら之れを認めてやる丈の力が持ちたいと思ひます。

或日、お飯事をするために折角出かけた菊の萌

芽を摘み取りました。私は其時直に注意を與へ様かと思ひましたけれども、幼兒は決して惡意で積んだのではありません只遊びの爲めに積んだのであると思ひましたので暫く自由に遊ばせて置きまして、その興味の半ば過ぎた頃に其子供に申しました「彼の菊を若し摘み取らなかつたら、だんだん大きくなつて美しい花が咲く様になりますのに、惜しいことをしました、けれどもこれからは氣をつけませう」と申しました。すると其子供はよく私のいふたことを了解してうなづいてゐました。

私共は毎日保育をいたします上に子供の興味を尊重してやり同情を以て觀てやるこの二つの道が大切なことゝ存じます。

今日はフレーベル先生の御祭りにあたりまして私たち江戸堀研究会々員の未熟な者達が澤山出まして、長々と貴重な時間を御静聽下さいました事を一同に代りまして厚く御禮を申し上げます。

思ふよま、

一會員

眞夏まなつになつた。山を見ても野を見ても、さては藁わらに照りつける白日の光を見ても、誠まことに生々とした、力の充ちくゝてゐる心地がする。

前の休暇からこのかた幼稚園の先生としてのたえまない活動をつづけて來た私達が、日頃の目まぐるしい生活から暫く離れて、こゝにたとひ一月でも半月でも休暇をもつと云ふ事は何と嬉しい事だろう、政治家にせよ、實業家にせよ、社會の表面おもてに立つて活動する人達を見ると、あの火花をちらす様な花々しい生活、その緊張を本當にうらやましいと思ふが、しかしその活動の一方にはまたそ

の勢力をたくはえるための充分な休みがある。深更まで密議を疑らす國務大臣も、一日中を取引のかけ合ひに奔走する商人も、連日つづけはせぬ。いざと云へば三日も四日も不眠不食で奔走もしやうが、また閑日月ののびくとした時が、日が、一月の中に一週の中に、又は一日の中にも得られる事と思ふ。

學校の生先はどうであらうか、一週に一度日曜日はある、しかし繰り返す毎日の生活は、目覺ましいとも云へまい、むしろ極めてじみな生活であつて、目立たないだけに、また、單調になりやすい、舊りやすい、若葉の萌え出る様な新鮮味を失ひやすい。ことに毎日毎月毎年の繰り返す生活、それに馴れると云ふ事の恐しさは、どうかすると惰性でくらしで行きやすい事である。「人の精神を取扱ふ大切な教育事業を惰性にするなどは」と驚く人があるかもしれない。しかし實際、經驗を積むために生ずる仕事の容易さの他面には、舊り

やすい、器械的になりやすい傾向があると云ふ事を忘れてはならない。

ことに幼稚園の教育は、考えれば考える程問題も起り、努力すればする程、なすべき仕事次から次へといくらでも湧出して來ると同時にこの教育ほど習慣的に惰性的にしても、それで濟ませて行けるものは少ないと思ふ。どの教育でもそうであるがことにもいろいろの方面に先生自身の自由な活動の範圍の廣いだけ、大きいだけ、幼稚園の教育は先生その人次第であり、その先生に新鮮味があるかないかで仕事の上で大變な差が出來て來るのである。

□

人に與へるためには先づ自ら持たなければならぬ。空虚な水甕（つががめ）からは如何にしても一滴の水さへ出す事は出來ない。湛（た）へられた水桶（みづか）も汲み出さ

ねば水は腐つてしまふと云ふが、しかし先づ充たす事をしなければ、汲み出すにも出されない。幼児は先生に對していつも新しい清い水を要求する。私達の泉は腐れかゝつては居らないだらうか。私達は先づ水を汲み入れなければならぬ。

休み!! 休み!! 今私達に一番必要なものはこの休みである。幸に得られたこの休暇を、どうか充分に心身ともに休養させたい。そして秋の活動に否、私達にとつて少くとも來る一年間のたえまな活動にそなへる力をたくはへなければならぬ。

幼稚園の先生は本當に疲れる。一度も經驗のない人達には、とても想像もつかない様に疲れる。

「一日子供と一所に遊んでさぞ面白いでせう。呑氣ですわね」と云ふ様な言葉を受けた時に「とても理解しては呉れない」と云ふ一種のあきらめの心持で私達はだまつてしまふ。外から見たら呑氣かもしれない。一日子供と一所に馳けたり飛んだりまゝどとしたりくだらなくも氣樂にも見えやう。

しかし先生にとつては、寸分のすきもない緊張の生活、それで小供が幼稚園の門に入るから送り出す迄ゆるむ事の出来ない生活である。身體の疲勞は勿論人間をそのまゝ、我が心の中にうけ入れて、人格對人格の生活をつづけるその精神の疲勞はどれ位だかわからない。

疲れてしまつては教育は出来ない。無限に要求する子供に何も與へる事は出来ない。

休み!! 休み!! 幼稚園の先生は、本當にこの休暇を充分に休まねばならぬ。

□

休めと云はれ、休むと云つて見ても、どうすれば休めるかは人によつて種々であらう。休むのであるとて何もせずたい眠つてゐても休みにはなるまい。よく人も云ふ事であるが學課にしても同じ事を何時間も續けるよりも、違つた學課をいろ

く取り合せる方が遙かに疲労が少ない様に、私達も休むと云ふ事のためには一日の暮、しかたに變化を興へると云ふ事も一方法であらうと思ふ。幼稚園に出て居れば、どうしても時間で生活して行くために、又たえず子供との接觸交渉のために、思ひきり自分の好きな事に没頭すると云ふ事は出来にくい。しかし休暇中には、日頃讀たいと思ふ本に一日でも二日でも興味を集注する事も出来やう。又家庭内の仕事に思ひのまゝ、浸たる事も出来やう。或は旅行好きの人は、自分の興味にしたがつて、山に海に名勝をさぐる事も出来やう。

大切な事は、思ひ切つて自分にかへつた生き方をする<sup>と</sup>云ふ事である。自分のために眞實に生きる事の出来ない人は、他人のために、幼児のために、眞實につくす事は出来ない。

「人が毎日の生活に疲れると云ふのは借りもの様にしてその仕事をするからである」と或は云ふかもしれない、しかし如何に幼児教育に興味を

もち幼稚園の先生としての生活が自己の生活それ自身であるとの確信を得て居る人にしても、三百六十五日の、この心身ともに勞する事多き仕事には、時に疲れる事あるのは止むを得ない事である。私達は休まなければいけない。私達は疲れを癒さなければいけない。

どうかこの夏季休暇を皆が充分に休養する様にした。

九月には、皆の水甕から新鮮な水が湧きあふれてゐる様に。

子供の遊び相手になるには

きただて  
氣立のよいのが第一。(ヘッセル…自叙傳)

# 幼稚園教育學講義

— 神戸における講演 —

文學博士 谷 本 富

## 第五章 兒童心理學研究指針

水を治むるものは水の性を知る、人を治むるものは人の性を知らねばならぬ、幼兒教育をなすものは幼兒の性を知らねばならぬ。そこで兒童心理學の中に特に幼兒心理學の研究が必要である。

抑々兒童心理の事は既にルソーやペスタロッチによつて注意せられたが、最も其必要を説いたのがフレーベルである。然しこの時代には兒童心理學といふ一科はなかつた、兒童心理學は英國のダーヴィン獨逸のブライエル佛國のペレー等によつて新らしく研究せられた。大きく見積つて三十四年來のものである。而してこの研究の發達したの

は米國である。何故かといふに私の想像する所によると米國の教師は大概女子であつた爲で、女子の天性が子供に縁深きを以てであらう、斯くて其發達の案内者は主として次に掲げる六七人である。

一 Barnes は幼稚園に始めて發問法を應用した  
二 Shim この婦人は己が親族の子供について研究した。

三 Russell は凡ての人に就て研究された。

四 Chamberlain である。氏は Child といふ書を著したが其内容は野蠻人のする事と普通人のする事とを比較研究した所もあつて即ち人類學上より見たのである。

五 Baldwin は社會學上より兒童を見た。

六 S. Hall は最後に此等をまとめて統一した。

此等の人々の先導によつて今日は實際各方面の調査が山程あるやうになつた様である。日本でも兒童に關した書は多くあるが楢崎氏の『兒童心理學』はよろしう Drummond 氏の書は近頃翻譯は成つたが左程に思はない、寧ろ同夫人は近著の『The Dawn of mind』と題する小冊子の方が好い様だ。ところで茲に一つ Earl Barnes の新著『The Psychology of Child and Youth』即ち兒童并に青年の心理と題する書物が一九一四年に紐育で出来た。それは右申す有名なる兒童心理學の大家が三十回講義要領をかいたものである。一回講義を一章とし三十章から出来てゐる、一回は一頁半位で、毎年の終りに四五冊の参考書を擧げてあり。又一枚毎に一枚の白紙を入れて書入れに便する様にしてある。内容は流石に老練と博學で充たされて居る。

次に、其内容の目次を一瞥すると、それは普通心理學者の排列と稍々趣を異にして居る。

序文は長たらしいものでなく、僅々十四行で至つて簡單で要領を得て居る。

一 兒童の遺傳し得るものは何か。

二 初期の幼兒生活。

三 身體發達の理法。

四 兒童期に於ける感情と情緒。

自分は或る意味で夙にモンテッソーリ女史に同意出来ぬ點がある、即ち五官や筋肉の發達には注意したが、感情情緒に重きを置かぬ點である。是れは遙に違つて居る。

五 感官の發達。

五官を後にし、感情情緒を先にせるは最もよろしい。

六 兒童は如何に考ふるか。

子供と大人とは考へ方が違ふ。

七 身體上並に精神上缺陷ある子供。



普通心理學ではこの項は最後の方に擧げるが先にしたのはよろしい。

八 言語の發育。

九 心象並に想像。

一〇 横倣と暗示。

一一 習慣と本能。

一二 記憶。

一三 人格の發育。

一四 兒童時間の觀念。

一五 法の觀念。

一六 迷信。

一七 推理。

一八 社會的理解。

一九 首領性。

子供は餓鬼大將や、お山の大将になる位でなければいけない。これが、やがて群衆心理となるのである。子供を研究するには、先づ群衆心理

から研究しなければならない。勞働者などで同

盟罷工の發頭と成る位の方は、子供の時から首領性がある。

二〇 道德性の發達。

二一 兒童期に於ける犯罪的傾向。

二二 責罰に對する兒童の態度。

二三 褒賞。

二四 審美性の發達。

二五 兒童に於ける宗教的發達。

二六 兒童期の遊戯。

二七 仕事に對する兒童の態度。

二八 財産に對する兒童の態度。

二九 政治的生活に對する兒童の態度。

三〇 性的興味。

昔は、男女七才にして性的興味が起るといはれるが、最近二才にして既に性的興味が萌すといふ、否精神分析學から言へばまだそれよりも早い。

以上三十章中にも自ら段落あり、即ち

第一章より第七章まで 心身の根柢。

八——一二 心の成長。

一三——一七 人格の發達。

一八——一九 社會性。

二〇——二五 高尚なる情操の發達。

二六——二九 公的生活の發達。

三〇 性的生活。

尙ほ Barnes 氏は *Studies in Education* といふ

大なる書物を作つた、これは各方面で材料を集めた四五百頁の書で二冊ある。但し未着未見。

緒、第一回の講義に於て如何に凡ての事を網羅して居るかといふ事がわかる、今、こゝに其内容を示す。——一例として。

第一講 兒童の遺傳し得るものは何か。

第一節 優生學研究の必要。

「優生學(ユトゼニックス)は人種の天稟の諸性質を改善するに效ある一切の影響を取扱ふ科學である」——ゴルトン

家庭學校並に社會一般は、皆均しく善く生れたる兒童を以て其始とすることに興味を有して居る。蓋し、由つて以つて將來に對しては最善の結果に到達し、尙且つ不適者を養育するの負擔を免がれんとしてである。フランシスゴルトンは千九百四年にユトゼニックスなる語を作出した。而して倫敦大學にユトゼニックスの一講座を建設せしが、それは目下教授カール・ヒアルソンが擔當する。

第二節 遺傳の諸學理。

ダーヅキンは、各個體の諸經驗は機制を調變し、該機制は又自ら再生するの傾ありと云ひ、ワイズマンは、萌芽成形元は一代より次代に移り行くものにして、此萌芽成形元を左右するの變化のみ獨り遺傳するといふ。メンデルは、雜種培養に於て優良の諸性質は子孫の三分の一の中に持續するといふ。知らず人間に於ける優良の諸性質とは何か。

第三節 遺傳すべしと知られたる條件

白痴狂疾並に癩癩は遺傳する。盲と啞とは往々

家族中に引續き現はれることがある、梅毒は子孫に傳はる。痲病は遺傳しない。但し其效果は子孫に移される。亞爾簡兒は未定であつてカールピアルソン教授とサー・グイクトル・ホルスレーと論争あり。結核は遺傳せず而もその發達に都合好き條件は遺傳する。

#### 第四節 世界の出生率。

一團體を持続せんとせば、平均各家族に四人の子あるを必要とする。米國の人口統計は信賴するに足らない、而かも米國生れの兩親は免角自ら再生しやうとしない様である。英國の生産率人口一千毎に

|       |      |
|-------|------|
| 一八七六年 | 三六・三 |
| 一九〇五年 | 二七・二 |
| 一九〇六年 | 二七・一 |
| 一九〇七年 | 二六・三 |
| 一九〇八年 | 二七・五 |
| 一九〇九年 | 二五・六 |

一九一〇年 二八・八

三十年に出生率は三分の一を減じた。此の減却は富裕の知識階級の家族に最も急速である。佛國に於ては出生率は實際同様にして變動を見ない。獨逸には低降が英國より二十年程遅く初まつたが而かも引續き愈々甚だしく成りつゝある。十年間に人口一千毎に、

ミュンヘン 三一・五より二一・九

ドレスデン 三一・五より二〇・二

伯林の二大區では、死亡率より生産率の劣ること一三・八なる奇顯象がある。生産率は加持力教、猶太教徒、聖公會信教並に最下層の労働者には最も好況を持続して居る。

第五節 立法完成せられたるものと沮格せられたるものと。

- 一 婚姻以前に醫師の検査を要する法律がある、(インデアナ並にウインスコニン)
- 二 性的墮落者を虚勢するもの。

三 低能白痴を隔絶するもの。

四 梅毒並に肺結核の登録。

五 父たる者に醫的奉仕よりの免除を與へ大家族を獎勵する事。

六 母並に寡婦の扶助科。

七 アルコール並に麻醉劑の監督。

#### 第六節 困難の諸問題。

一 現今の仁慈なる法令に由り不適者を保護する事は一層多くの不適者を生みはしないか。

二、児童労働法は大家族を衰靡なしはしないか。

三、大家族は望ましきものなるか。

四、營養教育共に不完全なる多數の児童のあるよりは、兩者行届きたる小數の児童のある方がよくはないか。

五 一家族一人の児童はハンデカップに困むか。

六 新時代は、大々一層下級民より徴出する様に

成のは、不運の事なるか。

斯くて右 Burnes 氏の右舉三十箇條にて充分な

りや否やといふにその中には何處にも子<sup>〇</sup>供<sup>〇</sup>の個<sup>〇</sup>性<sup>〇</sup>といふ問題が説かれてない。今日、動もすれば米國の幼稚園の非難せらるゝ點はこの個性尊長が足りないからである。これはフレーベル流の統一表象主義を學ぶために形式に流れるのである、そこで今個性に就いて少しく述べやう。

昔ガレン氏は人には四通の稟賦があるといつた。即ち多血質、神經質、粘液質、膽汁質である。私は『新教育の主張と生命』といふ拙著の中にホルウイツヒ氏の説を引いて面白く説明して置いた。但し一船に信せられてるのはグンド氏の説で檜崎氏の書中にある。ところでスタンレーホール氏は又作年の九月の號の Pedagogical Review 中に近世兒童心理學の概略を書かれたが遙に新らしい意見もある。

第一には氣質を二大別にした、

一 活動性——積極的

二 受動性——消極的

但し、かくの如くいふと、或は丁度男女の性の區別に當ると思ふ人もあらうが、それは必ずしもそうで無い。活動性の子供は首領性に富み、受動性の子供は附隨性に満足する。活動性の子供は怒り易く、受動性の子供は恐れ易い。換言すれば前者は物をなすことを好み、後者はするよりも知ることが好きである。又前者は、周圍の事物並に人間界の事を想ふ通りにしたがるのである。後者は周圍の事情に適應せんとする性がある。これが少しく病的に陥れば、前者は残忍となり、後者は自から苦しむ人となり、又人の犠牲となる傾がある。世間では怒る怖れるといふ情は悪い様に思ふて居るが却つてそれが人生文明の基となるのである。即ち怖れるから科學も發達し發明もする。怒るから進歩改良を促すやうになる。靈魂不滅も全く怖れるからである。近頃喧しいサヂスチック *Sadistic* とマソキスチック *Masochistic* との二語はこれに相當する。

子供は生れるからこの二つの性があるからこれを知つて取扱はねばならぬ。米國の幼稚園では子供を胡蝶が飛ぶやうに又たんぼの花の様に美しくひよこの様に一の憐なものたらしめんとする、然しこれは男にとつて不適當である。騒しいとか喧嘩しては悪いとかとやかましくいふが誤りである。この點が改良されねば、幼稚園は實はまゝごとである。

第二には人を潛勢力より見て分けた。即ち困難に望んで潛勢力を多く出す人と出せない人とがある。これは祖先より勢力を蓄積されて居ることの多少に由るので例へば火事の際重いものを持つ事ありこれは潛勢力を出したのである。

第三は主我的と愛他的の區分で、前者は自己中心、後者は他人中心張我と沒我とにあたる。キリスト教は沒我を主とする、凡て従來の道德はそれである。

第四、子供の三四年の時に於て、一番尊敬する

のは父である所が、子供によりて何時迄も父を尊敬するのと反つて反く人とがある。

第五、世の中は埋め合せといふ事が行はれて居る。これを知つて居れば子供に良い悪いはなくなる。それをコンベンション即ち代價の律といふ。例へば前カイゼルの左手がきかない事はやがて右手が人一倍の力をもつて居る所以で、又昔ギリシアのデモスセネスは叱りであつたが海岸で勉強して古今獨歩の雄辯家となつた。音楽家ベトーベンも耳の遠い人であつたのがこれも有名なる大音楽家と言はれるやうになつた。ソクラテスも醜男子であつたが最も賢い人となつた。かくの如く人は完全を望んで以て不完全を辨するやうになる即ち埋合法のあることを知るべきである。

第六、しかし眞の良い子は平均を持って居る者であらう。佛國のテーム氏は曰く「健康は凡ての健康の調和したものである」と

以上の六ヶ條を考へて教育するとよろしい。こ

れは James も Friend もいふてあるが、之れを一纏めにして六ヶ條を合せて居るのはスタンレーホール氏であることを御紹介申す。

(文責在記者—神戸市楠幼稚園、木村りん)

### ○編輯室より

本誌も「幼児教育」と改題致しましてからもはや半歳以上を過ぎました。平和來の聲に皆々歡喜する他の二方面には改造と云ふ事も到る所に稱へられて居ります。我が幼児教育界も今後いよいよ事多いこととごさいます。本誌内容の今一層充實は兼々心掛けて居ります事ですが、何分紙數に限りがありこれの實行に困難がございました。そこでいよいよ秋期よりは一頁の字數を増加する事に致します。凡そ一頁について百字以上多く致しますから、今後は一層内容を豊富にする事が出来る事と喜んで居ります。

本誌は「夏休み號」と云ふ心持で内容もその積りで撰び紙數も幾分少く致しました。

秋には各地會員の皆様よりの休暇中の御經驗、御所感を御紹介出来れば幸に存じます。會員の皆様のお寄稿をお待ち申します。原稿締切は毎月十六日でございます。

# 日本幼稚園協會役員

會長

湯原元一

主幹

倉橋惣三

幹事 (イロハ順)

井村 くに 池田 トヨ (會計) 坂内 ミツ (庶務) 和田 實 和 田 くら

梶原 梢 土川 五郎 奈良山 梅 向井 翠 柱 小 向 きみ

小山 はな 小高 つや (編輯) 及川 ふみ

評議員 (イロハ順)

乙竹 岩造 吉田 熊次 田中 ふさ 野口 香 安 井 哲

榎山 榮次 藤井 利譽 下田 次郎 日田 権一

地方委員 (イロハ順)

折井 彌留枝 大和田 りよう 坪内 きく 宇式 がん 久住 モト

坂井 ふで 司馬 のぶ 望月 く に 膳 たけ

## 加盟保育會

- 東、京、市、保、育、會
- 京、都、保、育、會
- 大、阪、市、保、育、會
- 神、戶、市、保、育、會
- 靜、岡、縣、保、育、會
- 名、古、屋、保、育、會
- 香、川、縣、保、育、會
- 福、島、縣、保、育、會
- 吉、備、保、育、會

本誌は最も平易な、最も教育的な子供繪雜誌たるべく苦心して居ります

# コドモ

編輯顧問 高嶋平三郎先生

# 幼垂 雜誌 良友

本誌はコドモの兄様姉様に當り、小學生の讀物として最も適當な雜誌です

近來子供雜誌や繪本類が非常に多くなつて、既に二三十種に達してゐる。

世の父兄諸氏は、この多くの同種中、はたして何れを子弟の爲に選ばるゝであらうか。單に玩具と見做して、その選擇を慢然兒童の取捨に一任して置いてよいであらうか。

發行所 東京市小石川區 電話 六一八二 社名 ドコモ 電話 二一九二

明治三十四年一月廿八日第三種郵便物認可(毎月一回一日發行)

幼児教育 第十九卷第八號

大正八年七月廿七日納本濟  
大正八年八月一日發

印刷所

凸版印刷株式會社本所分工場